



○ 草の根パートナー型

平成23年度第1回 採択内定案件

I. 提案事業の概要	
1. 対象国名	フィリピン
2. 事業名	土壌・資源保全に配慮した安全野菜生産・流通プロジェクト
3. 事業の背景と必要性	<p>ベンゲット州における高原野菜栽培が当面する連作障害による生産性低下や残留農薬の問題に対処するため、先行プロジェクト（ベンゲット安全野菜栽培技術普及プロジェクト）によって土づくり・安全野菜栽培（SAVERS）技術をベンゲット州内で普及した。</p> <p>本提案事業では、それにより生産される安全野菜の販売流通改善を図るとともに、SAVERS技術の普及を拡大する。これによりベンゲット州内外における土壌・資源保全に貢献する。</p>
4. プロジェクト目標	野菜生産農民が、LGU職員及び流通関係者の支援を受けつつ、土壌と資源保全に配慮した安全野菜の生産を実践できる能力を身につける。
5. 対象地域	ベンゲット州及び周辺地域
6. 受益者層 (ターゲットグループ)	野菜生産農民、流通関係者、自治体の普及担当者
7. 期待される成果及び活動	<p>&lt;成果&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ベンゲットにおいて農民が安全野菜を有利に販売できるよう販売流通システム改善が試行される。</li> <li>2. 農民が土壌・資源・環境保全に配慮した安全野菜生産技術（SAVERS）に取り組む能力を身につける。</li> <li>3. 地方自治体（州、町）職員が農民に生産技術、販売方法を指導することができる。</li> </ol> <p>&lt;活動&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 野菜の販売流通システム改善試行</li> <li>2. 土壌・資源保全に配慮した安全野菜生産技術の指導</li> <li>3. 人材育成（野菜生産農民、流通関係者、自治体の普及担当者等）</li> </ol>
8. 実施期間	2012年4月～2015年3月（3年）
9. 事業費概算額	86,269千円
10. 事業の実施体制	国際農業者交流協会が、フィリピン国ベンゲット州政府及び町自治体をカウンターパート機関として、プロジェクトを実施する。実施団体及びカウンターパート機関はプロジェクト運営委員会を結成し定期的に会合する。農業省、フィリピン帰国研修者協議会、NPO法人八ヶ岳環境保全型農業国際研修協会、長野県佐久穂町特用林産生産者組合の協力を得る。
II. 応募団体の概要	
1. 団体名	公益社団法人 国際農業者交流協会
2. 活動内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 農業研修生をアメリカ及びヨーロッパへ派遣（約14,000人）</li> <li>2. 農業研修生をアセアン諸国より受入れ（約1,500人）</li> <li>3. 国際的シンポジウムの開催、海外への調査団派遣等を実施</li> </ol>